

和漢医薬学総合研究所の概要（研究分野と研究目的）

研究部門・附属センター	研究分野と研究目的
<p>1. 資源開発部門</p> <p style="text-align: center;">Department of Medicinal Resources</p> <p>教授 小松かつ子 教授 門田 重利 教授 服部 征雄 准教授 田中 謙 准教授 手塚 康弘 准教授 馬 超美 助教 朱 妹 助教 Suresh Awale 助教 鄭 美和 研究員 魏 勝利(COE) 研究員 伊奈 隆年 研究員 Ali Mahmoud(COE) 技術補佐員 幸 雅子</p>	<p>生薬資源科学分野：Division of Pharmacognosy</p> <p>薬用生物および伝統薬物の調査とそれらの遺伝学的、生薬学的、成分化学的、薬理学的多様性の解析を行う。遺伝子多型に基づく和漢薬の同定法を開発する。</p> <p>化学応用分野：Division of Natural Products Chemistry</p> <p>和漢薬及びそれに関連する動植物の生理活性成分の分離、構造解析を行うとともに、それらの有効成分の化学的合成法を開発研究し、さらに化学構造と生理活性との相関関係を究明する。</p> <p>薬物代謝工学分野：Division of Metabolic Engineering</p> <p>和漢薬の薬効発現に関与する腸内細菌およびその遺伝子の解明。抗エイズ、抗C型肝炎ウイルス薬の開発研究。霊芝、樟芝などの担子菌類の薬効評価。</p>
<p>2. 病態制御部門</p> <p style="text-align: center;">Department of Bioscience</p> <p>教授 松本 欣三 教授 濟木 育夫 教授 門脇 真 准教授 東田 道久 准教授 櫻井 宏明 助教 村上 孝壽 助教 小泉 桂 助教 山本 武 助教 影山 夏子 技術補佐員 趙 琦(COE) 技術補佐員 岩白 円</p>	<p>複合薬物薬理学分野：Division of Medicinal Pharmacology</p> <p>和漢薬の薬効に関する計量薬理的な評価およびその作用機序と作用本体の解明を行うとともに、和漢薬が薬効を発現する生体の病態生理を解析する。</p> <p>病態生化学分野：Division of Pathogenic Biochemistry</p> <p>和漢薬効果に対応する体質（遺伝的要因）ならびに病態に対する和漢薬の効果を遺伝学、生化学、分子生物学ならびに免疫学など多面的に解析する。</p> <p>消化管生化学分野：Division of Gastrointestinal Pathophysiology</p> <p>消化管疾患、特に腸管免疫性疾患の病因および病態形成機序を解明し、それに基づき和漢薬等を含めた新規治療薬の創出を目指す。</p>

<p>3. 臨床科学部門 Department of Clinical Science</p> <p>教授 浜崎 智仁 客員教授 西岡 孝明 准教授 渡辺 志朗 助手 長澤 哲郎 技術補佐員 武部 鎮子</p>	<p>臨床利用分野：Division of Clinical Application 天然薬物（特に魚油中のEPA, DHA）の作用機序の解明とその臨床利用。末梢での炎症反応に起因する脳機能の変化を病態としてとらえ、これを標的とした和漢薬の新規作用機序を明らかにする。</p> <p>機能情報解析分野（客員）：Division of Biomedical Informatics 和漢医薬に含まれる代謝物質の高分解能マスペクトルデータを収集、整理、データベース化して公開することによって代謝物質と薬理機能との関係を明らかにする。</p>
<p>4. 漢方診断学部門（寄） Department of Kampo diagnostics</p> <p>教授 柴原 直利 准教授 酒井 伸也 助教 藤本 孝子 助教 条 美智子</p>	<p>経験が重視される漢方医学固有の診断体系を基礎的および臨床的研究により客観化するとともに普遍的な教育カリキュラムを確立する。</p>
<p>5. 和漢薬製剤開発部門（寄） Department of Kampo-pharmaceutics</p> <p>教授 鹿野 美弘 助教 白雪</p>	<p>和漢薬資源とその製剤を開発する基礎研究と漢方医療情報研究を通して地域連携研究と県民の健康福祉に貢献する。</p>
<p>6. 附属民族薬物研究センター Research Center for Ethnomedicine</p> <p>センター長 門田 重利(併任) 民族薬物資料館 小松かつ子(併任) 館長 准教授 横澤 隆子 助教 東田 千尋 客員教授 I Ketut Adnyana 客員教授 Andrianus A. Soemardji 客員教授 Mohan B. Gewali 客員准教授 Penpun Wetwitayaklung 客員准教授 Tanomjit Supavita</p>	<p>世界各地の民族薬物の薬効評価及びその有効成分の解析並びに伝統医薬の医療文化・経済に関する研究を推進する。</p> <p>薬効解析部：Division of Biofunctional Evaluation 民族薬物の薬能解析（機能解析）に関する研究及び産学官・地域連携共同研究の推進業務を行う。</p> <p>外国人客員部：Division of Visiting Professors 外国人研究者を招聘し、民族薬物に関する文献学的・生薬学的情報の整理と分析及び民族薬物に関する化学的・薬理学的研究を遂行する。</p> <p>国際共同研究部：Division of International Cooperative Researches 伝統薬物・薬用植物に関する国際的共同研究の推進することを目的に、①タイ国との拠点大学方式による交流事業、②ミャンマー国との海外協力事業、及び③北京大学薬学院との共同研究拠点(International Collaboration Center for Conservation and Efficient Utilization of Medicinal Resources) 事業を展開する。</p> <p>民族薬物資料館：Museum of Materia Medica 世界の諸民族の伝統薬物を蒐集、保存、展示するとともに、それらの学術情報を収載したデータベースを構築し、伝統薬物に関する共同研究を推進する。</p>

(寄)：寄附部門